

鎌倉市公共施設再編計画 NEWS No.18

平成 29 (2017) 年 5 月発行

●全市的な視点で公的不動産の利活用に取り組みます

平成 29 (2017) 年度は、公共施設の再編と並行して、低未利用のままとなっている本市が管理する土地・建物などの公的不動産^{注1}の利活用を全市的な視点から検討します。

平成 28 (2016) 年度は、老朽化した市役所本庁舎を移転して整備する方針を決めました。このため、今年度は、市役所本庁舎の移転先を定めることと併せて、これまで個々の土地利用に対して行ってきた検討を踏まえつつ、公的不動産の利活用の方針を定めます。この方針の策定の意図としては、公的不動産の利活用を推進することで、鎌倉市全体の魅力向上を目指すというものです。

検討は、条例に基づき調査審議を行う鎌倉市公的不動産利活用推進委員会（以下「推進委員会」）での議論を中心に、市民の皆さんの意見も聞きながら進めていきます。また、利活用のための方針は、概ね 9 月頃に中間的な取りまとめを行い、3 月末までに最終的な取りまとめを行います。最終的な取りまとめは「(仮)都市創造ビジョン(公的不動産利活用推進方針)」として市民の皆様にはわかりやすく示していく予定です。

【注 1】 公的不動産のリスト (委員会資料より)

	土地・建物名等	所在地	備考
1	鎌倉市役所	御成町	移転方針のため、移転先及び現在地について
2	梶原四丁目用地 (野村総合研究所跡地)	梶原	寄付・既存建物有
3	深沢地域整備事業用地	寺分	行政用地部分で総合体育館、プール、消防本部を移転整備予定
4	扇湖山荘	鎌倉山	寄付・既存建物有
5	資生堂鎌倉工場跡地	岩瀬	寄付される予定
6	旧華頂宮邸	浄明寺	建物のみ寄付 登録有形文化財・景観重要建築物等
7	旧前田邸	長谷	寄付・既存建物有 鎌倉文学館に隣接
8	旧和辻邸	雪ノ下	寄付・既存建物有 景観重要建造物
9	旧今井邸跡地	由比ガ浜	更地となっている
10	旧村上邸	西御門	寄付・既存建物有 景観重要建築物等
11	扇ガ谷用地	扇ガ谷	寄付 (仮称) 鎌倉博物館予定地
12	深沢クリーンセンター	笛田	市営住宅の集約先として検討中
13	市営住宅用地	市内各地	移転集約のため、集約先以外は跡地となる予定
14	材木座保育園敷地 稲瀬川保育園敷地	材木座 長谷	(仮称) 由比ガ浜こどもセンターへの移転により跡地となり売却予定
15	二階堂用地	二階堂	-
16	旧市営弁ヶ谷住宅用地	材木座	-

【本庁舎整備方針 (平成 29 (2017) 年 3 月策定) について】 (鎌倉市本庁舎整備方針 (概要版) より)



現在の本庁舎

■整備方針

- ・本庁舎は、移転して整備する方針とします。

■移転先

- ・深沢地域整備事業用地の外、その他の低未利用の公有地の活用なども含めて、全市的な視点から適地を定めていきます。

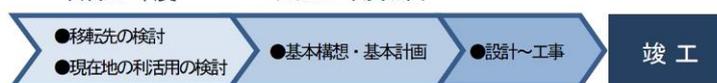
■整備の進め方

- ・PFI・PPP^{注2}を活用した事業手法による整備を目指し、財政負担の平準化、工事費などにかかるイニシャルコスト、運営などにかかるランニングコストの縮減による財政負担の軽減のほか、財源の確保に取り組んでいきます。

■機能の配置

- ・移転先に本庁舎の行政機能を集約し、現在地には一時避難場所、市民活動機能、行政機能、民間機能等の配置を跡地の利活用の中で検討し、効果的・効率的な機能の配置や規模を目指します。

〈(参考) 全体的なスケジュールのイメージ〉
平成 29 年度 平成 30 年度以降



【注 2】 PFI : Private Finance Initiative の略。民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。

PPP : Public-Private-Partnership の略。官民連携のことで、公共サービスの提供において民間が参画する方法を捉えた概念で、民間の資金や手法を活用し、公共施設の整備等の効率化や公共サービスの水準の向上を目指す手法。

●第1回鎌倉市公的不動産利活用推進委員会を開催しました

1 ページの上段に掲載している全市的な視点での公的不動産の利活用の取組として、5月16日（火）に第1回推進委員会を開催しました。

はじめに

開催に先立ち、市長より、「寄付などによる公的不動産の利活用推進については、個別案件として捉えがちであるが、これらは、全市的なまちづくりを行う上で、重要な要素である。そのため、鎌倉市の可能性を最大限に引き出していけるよう、スピード感を持って、未来のビジョンを多くの方に分かりやすく、見えるようにしていきたい。」と挨拶がありました。



市長挨拶

推進委員会について

推進委員会は学識経験者2名、知識経験者1名、公共的団体からの推薦者5名、合計8名の委員^{注3}によって組織されています。

公的不動産の利活用に関する取組は、今後市民の皆さんの意見等も踏まえながら更に議論を重ね、進めていきます。なお、今回検討する主な公的不動産は、前述（注1の表）のうち、土地の利活用を行う上でその周辺地域に対する影響が大きいものや、面積が広いものとして抽出した1番目から5番目までの5箇所とし、まちづくりなどを含めた具体的な利活用の方針を検討していきます。また、面積が狭いなど周辺との局地的な関わりが主となる寄贈された旧邸宅など、6番目以降の公的不動産の利活用に関しても、全体的に検討していく予定です。

推進委員会は公開しています

推進委員会は公開しています。次回の開催は6月28日（水）13時から15時を予定しており、傍聴のご案内は、随時、広報かまくら及び市ホームページにて行っていきます。また、会議の資料等も下記の市ホームページで公表していますので、是非ご覧ください。



推進委員会の様子

【注3】 委員名簿

	氏名	所属等
副委員長	増井 玲子	東洋大学PPP研究センターリサーチパートナー 前鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員 前鎌倉市本庁舎整備方針策定委員会委員
委員	三宅 理一	東京理科大学 理工学部建築学科 客員教授
委員	伊藤 正一	湘南信用金庫 営業統括本部担当 執行役員
委員	尾渡 英生	大船工業倶楽部
委員	後藤 和幸	鎌倉市市民活動センター運営会議
委員	斉藤 正朗	鎌倉商工会議所青年部 理事
委員	徳増 源七	神奈川県宅地建物取引業協会鎌倉支部 支部長
委員長	波多辺 弘三	鎌倉商工会議所 専務理事

（敬称略）（学識経験者、知識経験者、公共的団体からの推薦者の順で五十音順）

今後の予定

【平成29年】

6月 28日 現場視察の後、
第3回推進委員会

8月 2日 第3回推進委員会

8月 21日 第4回推進委員会

9月頃 中間取りまとめ

11月 7日 第5回推進委員会

【平成30年】

1月頃 パブリックコメント

2月頃 第6回推進委員会

3月末頃 最終取りまとめ

